

# つくばみらい市 洪水・土砂災害 ハザードマップ

TSUKUBAMIRAI CITY  
Disaster prevention  
hazard map

## わが家の防災メモ

わが家の避難場所 (2か所以上)	①	②				
家族の連絡先	名	前	血液型	電話番号	会社・学校名	会社・学校の連絡先
企画・編集 所在地 電話 Eメール 制作 地図調製	つくばみらい市 総務部 安心安全課 〒300-2395 茨城県つくばみらい市福田195 0297-458-2111 (代表) anshin01@city.tsukubamirai.lg.jp 平成30年7月 株式会社 中央ジオマックス					

## 日頃の自宅での備え

大規模な災害が発生した際、直接の被害がなくても、ライフラインや流通業者等の被災により、物資が不足することも予想されます。最低3日分(できれば1週間分)の備蓄を行います。

- | 常時携帯品と非常用持出品(1日分)   | 常時携帯品(外出時に携帯するもの)   |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>常時携帯品は、外出先で被災した場合に備えたグッズです。非常用持出品は、常時携帯品のほかに必要度の高いグッズです。避難時にすぐ持ち出せる分量(1日分)を、リュックサック等に詰めておきましょう。また、これらのグッズに、自分や家族に欠かせないものを検討して追加しましょう。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>飲料水(1日1人500ml)</li> <li>持病の薬、常備薬</li> <li>携帯食(栄養機能食品、あめ、チョコレートなど)</li> <li>大判のハンカチ(または手ぬぐい)</li> <li>携帯電話・携帯電話用充電器</li> <li>携帯トイレ</li> <li>携帯ラジオ</li> <li>接続先メモ</li> <li>現金(公衆電話用10円硬貨)</li> <li>懐中電灯</li> <li>ティッシュ・ウエットティッシュ</li> <li>ホイッスル</li> </ul> |

- | 非常用持出品(避難する時に持ち出すもの)  | 必需品・貴重品等   | 生活用品   | 人に応じて必要な物   |
|---|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>必用品・貴重品等</li> <li>飲料水(1日1人3L)</li> <li>非常食(調理が不要な乾パン、缶詰等)</li> <li>預金通帳、印鑑、証書類</li> <li>身分証明書(健康保険証、免許証、パスポート等)</li> <li>タオル</li> <li>救急セット</li> <li>ティッシュ、ウエットティッシュ</li> <li>お薬手帳</li> <li>家族の写真</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>乾電池(予備)</li> <li>携帯電話用充電器</li> <li>筆記用具、メモ帳</li> <li>ガムテープ、マジック</li> <li>トイレ用ペーパー、新聞紙</li> <li>ポリ袋、レジ袋</li> <li>マスク</li> <li>ヘルメット、防災ずきん</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>懐中電灯(またはヘッドライト)</li> <li>ライター(マッチ)</li> <li>手袋(軍手)、ロープ(10m)</li> <li>万能ナイフ</li> <li>使い捨てカイロ</li> <li>雨具、簡易防寒具</li> <li>運動靴</li> <li>歯ブラシ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>予備のメガネ、コンタクトレンズ</li> <li>おんが専用紐、ベビー毛布</li> <li>入れ歯、補聴器</li> <li>ペット用品</li> <li>生理用品</li> <li>その他、自分に必要なもの</li> <li>乳幼児用品(哺乳瓶、粉ミルク、離乳食、紙おむつ、おしりふき、清浄綿)</li> </ul> |

- | 備蓄品(最低3日分、できれば1週間分)  | ローリングストック法  |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>食料品等</li> <li>飲料水(1日1人3L×家族分×3日分)</li> <li>※推奨7日分</li> <li>食料品(レトルト食品、缶詰、乾物、調味料等)</li> <li>※ローリングストック法で備蓄しておく</li> <li>ラップ</li> <li>カセットコンロ、予備のボンベ(ボンベ1本で約65分使用可能)</li> <li>クーラーボックス・保冷剤</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>生活用品等</li> <li>LEDランタン(リビング・キッチン・トイレ用)</li> <li>LEDヘッドライト</li> <li>口腔ケア用ウエットティッシュ</li> <li>衣類(季節に応じたもの)、毛布</li> <li>ブルーシート(雨濡れ防止)</li> <li>工具類(パール、ハンマー等)</li> <li>常時携帯品・非常用持出品の消耗品(乾電池、携帯トイレ含む)</li> <li>ガムテープ+油性ペン</li> <li>ポリ袋(小・中・大)</li> <li>新聞紙</li> </ul> |
- ローリングストック法  
ローリングストック法は、日常の買い置き量を多めにしておき、定期的にかいものから食べて、食べた分を買い足して補充していく備蓄方法です。食べながら備えるので消費期限の短いレトルト食品等も非常食として扱え、また、被災時でも普段から食べているものを口にする事ができるので、不安感が少なくなります。
- レトルト食品  
普段から食べているものがおすす、多くの食品は温めなくても食べられる
- 缶詰  
(ツナ・ハタタキ等)  
少量的なお湯で温めれば食べられる。野菜もとれる
- フリーズドライ食品  
少量的なお湯で温めれば食べられる。野菜もとれる

## 防災・災害情報の入手

災害が発生したり、発生するおそれがある場合に、市は避難に関する情報を発表します。災害情報や気象情報はテレビやラジオ、ホームページ等で確認できるので、日頃から情報を入手して確認するようにしましょう。また、災害時の連絡方法もチェックしておきましょう。



## 防災情報・災害情報の入手先

ホームページには「検索サイトの検索欄に情報ページの名称を入力して検索する」または下記の「二次元コードを読み取る」ことでアクセスできます。

二次元コードを読み取れない方は、次のアドレスに直接空メールを送信してください。「つくばみらい市メール」登録用アドレス  
tsukubamirai.haisinkara@sg-m.jp

**ご登録の前に**  
つくばみらい市メール配信サービスの利用規約に同意していただいた上で、ご登録をお願いいたします。

また、携帯電話で迷惑メール対策の設定をされている場合は、次の2つの設定を行ってからご登録をお願いいたします。

- 「sg-m.jp」ドメインからのメールの受信を許可する
- URL付きメールの受信を許可する

※迷惑メール対策をされていない場合でも、「仮登録完了のお知らせ」メールが届かない場合は上の2つの設定をお願いします。

**つくばみらい市登録制メール配信サービス登録方法のご案内**

二次元コードを携帯電話のバーコードリーダーなどで読み取り、表示されたURLにアクセスします。

二次元コードを読み取れない方は、次のアドレスに直接空メールを送信してください。「つくばみらい市メール」登録用アドレス  
tsukubamirai.haisinkara@sg-m.jp

ご不明な点がございましたら、下の二次元コードを読み取るか、URLのページをご覧ください。

**防災情報ホームページ**

気象庁  
全国の天候や気象警報・注意報、気象データ等の情報を掲載

気象庁 土砂災害警戒判定メッシュ情報  
土砂災害発生危険度の判定結果を掲載

国土交通省 川の防災情報  
全国の河川の雨量や水位等の情報を掲載

電話 0297-47-6377  
※通話料は、利用者負担となりますのでご了承願います。

## 風水害への対策

### 洪水災害について

- 洪水**  
洪水とは、雨などにより川の水量が普段より著しく増えた状態をいいます。河原へ行くと広い敷地のわりに中心部しか水が流れていません。これが通常の姿です。ところが、川幅いっぱいにお水が押し寄せると、広い河原も水の下にしか見えません。このように異常に水が増えたときを「洪水」といいます。
- 氾濫**  
氾濫とは、雨などにより、住宅地や農地などに水があふれることをいいます。川から水があふれることを「外水氾濫」といいます。川から水があふれるのではなく、住宅地や農地に降った雨がそのままたまってあふれることを「内水氾濫」といいます。
- 水害**  
水害とは、水によって起こされる災害のことです。外水氾濫も内水氾濫も水害と呼ばれます。ただし、海水による水害の場合は、高潮災害、津波災害といった呼び方をされます。

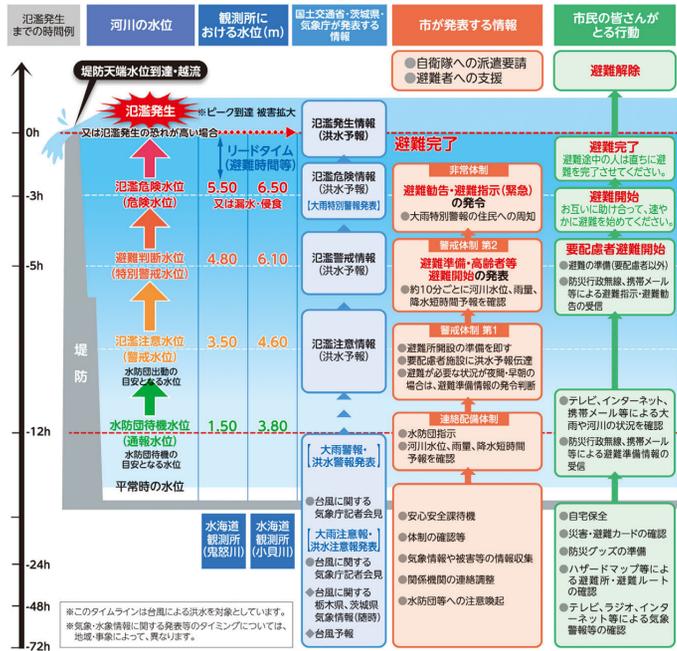
種類	発表の時期
<b>大雨特別警報</b>	台風や集中豪雨により数十年に一度の大雨が予想されるとき。重大な災害が発生する可能性が高まっているとき。
<b>記録的短時間大雨情報</b>	1時間雨量100mmの猛烈な雨を観測したとき。
<b>大雨警報</b>	大雨によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
<b>洪水警報</b>	河川の増水によって重大な災害が起こるおそれのあるとき。
<b>大雨注意報</b>	大雨によって災害が起こるおそれのあるとき。
<b>洪水注意報</b>	河川の増水によって、災害が起こるおそれがあるとき。
<b>土砂災害警戒情報</b>	雨量や過去の災害の記録などから土砂災害が発生する危険度が高まったとき。

発表目安	大雨注意報	大雨警報	大雨特別警報
予報用語 1時間雨量(mm)	やや強い雨 10~20mm	強い雨 20~30mm	激しい雨 30~50mm
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	ハケツをひっくり返したように降る
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をささしてもぬれる	傘はまったく役に立たなくなる
屋内(木造住宅を想定)	雨の音で話し声がよく聞かれない		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようなになる	水がしぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる
車に乗っていて	ワイパーを速くしても見づらい		車の運転は危険

避難勧告等について	避難指示(緊急)	避難勧告	避難準備・高齢者等避難開始
	まだ避難していない人は、緊急に避難してください。外に出ることによって危険が及ぶような場合は、屋内の高いところに緊急に避難してください。	速やかに避難を開始してください。外に出ることによって危険が及ぶような場合は、屋内の高いところに避難してください。	高齢者の方、体の不自由な方、小さな子どもがいる方等とその支援者は避難を開始してください。その他の人は、避難の準備を整えましょう。もし危険だとと思ったら早めに避難してください。

### 避難勧告発令等に着目したタイムライン(鬼怒川・小貝川)

洪水時には、以下のような洪水予報が国や県、気象庁、市から発表されることがあります。市民の皆さんは、安全のために情報の種類に応じて、適切な行動をとりましょう。

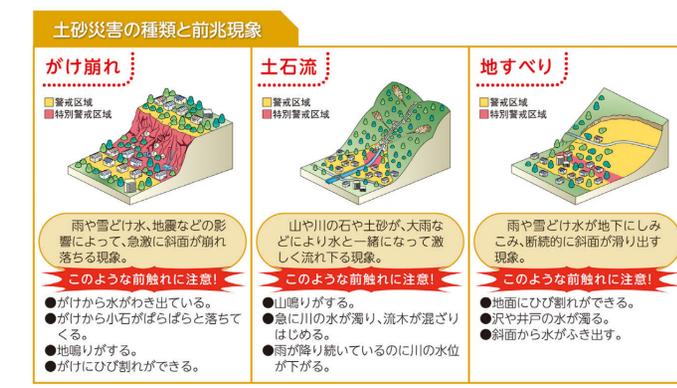


### 避難時の心得

- 避難の基本的な考え方**
- 危険が迫る前に早めに避難  
雨や風が強いときに外出することは大変危険なため、危険が迫る前に早めの対策をすることが何よりも重要です。自ら積極的に気象情報等入手することで、迫りくる危険を予測して、早めの避難を心がけましょう。浸水の危険性がある場合には、速やかに頑強な建物の2階以上、またはお近くの浸水しない地域に避難してください。
- 自宅に留まっても避難の一つ  
既に河川が氾濫している場合などは、屋外を移動して避難所へ避難する途中で被災することも考えられるため、自宅等の屋内に留まったり、建物の上階へ移動したりするほうが安全な場合もあります。

- 避難する時の注意点**
- ▶ **正確な情報収集と自主的避難を**  
ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。
- ▶ **避難する前に**  
避難する前に、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を止めておきましょう。元栓の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。
- ▶ **歩ける深さ**  
歩ける深さは、膝下までです。水深があるようなら高いところで救助を待ちましょう。
- ▶ **徒歩での避難、水面下に注意**  
水面下には、どんな危険が潜んでいるかわかりません。長い棒を杖代わりにして安全を確認しながら歩きましょう。大雨により、マンホールのふたが外れることがあります。危険ですから近寄らないでください。
- ▶ **正確な情報収集と自主的避難を**  
ラジオ・テレビで最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。
- ▶ **非常持出し品等、荷物は必要最低限に**  
避難するときの荷物は必要最低限とし、特に妊産婦や乳幼児がいる家庭は必要ものをよく確認して、事前に準備しておきましょう。
- ▶ **速やかに避難しましょう**  
避難勧告・避難指示などは、危険が迫ったときに発表されます。市や消防団から呼びかけがあった場合には、速やかに避難しましょう。また、避難の際は消防、警察などの指示に従いましょう。
- ▶ **動きやすい服装、2人以上での避難**  
避難するときは、家を施設し、動きやすい服装で、2人以上での行動を心がけましょう。サンダル等は禁物です。動きやすい運動靴等をはきましょう。
- ▶ **車での避難は控えて**  
自動車での避難は、緊急車両の通行の妨げになりますので、避難所まで近い場合や特別の場合を除きやめましょう。
- ▶ **万一、逃げ遅れたら**  
近くの丈夫な建物の2階以上に避難して救助を待ちましょう。住宅の2階部分でも場所によっては、危ないときもあります。

## 土砂災害について



土砂災害警戒区域	警戒区域は、土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。
土砂災害特別警戒区域	特別警戒区域は、警戒区域のうち土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域。一定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。
土砂災害危険箇所	●急傾斜地崩壊危険箇所及びがけ崩れによる被害のおそれがある区域。 ●土砂流危険箇所及び土石流による被害のおそれがある区域。 ●地すべり危険箇所及び地すべりによる被害のおそれがある区域。

- 土砂災害警戒情報について**
- 「土砂災害警戒情報」をご存じですか? これは、大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、市長が避難勧告などを発令する際の判断や、住民の皆さんの自主避難の参考となるよう、県と気象庁が共同で発表する防災情報です。ただし、土砂災害は地質や地下水の状況などに大きく影響を受けるため、発生の詳細な情報を特定することはできません。土砂災害警戒情報が発表された場合はもちろん、発表されていなくても、斜面の状況などに注意し、前兆現象に気がついたら、直ちに安全な場所に避難し、市役所などに連絡しましょう。
- 大雨注意報**  
大雨によって災害が起こるおそれがある状況
- 大雨警報**  
大雨によって重大な災害が起こるおそれがある状況
- さらに大雨が続くと  
**土砂災害警戒情報**  
大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、都道府県と気象庁が共同で発表
- 避難時に注意すること**
- ▶ **まずは事前の確認!**  
土砂災害から避難するためには、事前に危険箇所を確認し、災害の前兆現象を知っておくことが大切です。ハザードマップを使って確認しておきましょう。
- ▶ **寝る場所にも注意!**  
就寝中にも発生する場合があります。日頃から、がけから離れた谷側の2階の部屋に寝るなど土砂災害に備えましょう。
- ▶ **直角に逃げる!**  
がけ崩れの前兆現象を発見したら、斜面からできるだけ早く逃げるようにしましょう。土石流の場合は、土石流の流れの方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

### 日頃からの心がけ

- 風水害に備えておくべきこと**  
台風や集中豪雨はある程度予測できる災害です。情報を入手し、しっかりと準備をしておきましょう。
- 建物などの事前準備**
- アンテナや煙突などの補強をする。
  - 屋根瓦のずれなどを補修して飛ばないようにする。
  - 雨風の掃除をする。
  - 雨戸のないガラス窓は飛来物の破損から守る工夫をする。
  - 手すりや破れている部分をしっかりと固定する。
  - プロパンガスボンベはしっかりと固定する。
  - 建物の周囲にある風に飛ばされそうな物を取り込む。
- 自宅周辺の危険箇所を確認**  
冠水や洪水時には浸水により足元が見えなくなるため、マンホールや用水路、側溝など、自宅周辺に潜む危険箇所を事前に把握するとともに、避難路を確認しておきましょう。
- 避難経路の確認**  
避難場所までのルートを確認し、安全に通行できるかを確認して歩いてください。また、避難の際は消防、警察などの指示に従いましょう。
- 側溝や雨水ますの清掃**  
側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になるため、台風の前や大雨が予想される場合には、近所の側溝や雨水ますが詰まっていないかを確認し、清掃を行っておきましょう。
- 家庭にあるものを利用して浸水防止**  
風呂水の水を活用して
- プランターやポリタンクを活用して**  
プランターやポリタンクを並べ、水を入れておくと、浸水を防ぎます。
- 止水板を活用して**  
長い板等を利用して、水の手やポリタンクと組み合わせて、浸水を防ぎます。